

平成30年度県民モニター調査
第1回 カムバックひょうごの取組

人口減少や東京一極集中が進む中、兵庫県においては、平成24年以降、県内に転入する人よりも、県外に転出する人の方が多い人口の転出超過が続いています。その内訳を見てみると、東京都への転出超過数は転出超過数全体の約7割、また、大学新卒者を含む20代の若者の転出超過数は全体の約9割となっており、若者を中心とした流出抑制・流入増加が大きな課題となっています。

そこで、若者の県内定着やUJターン等の促進など、今後の人口の流出抑制・流入増加対策の参考とするため、県民モニターの皆さんにご意見をいただくこととしましたので、ご協力をお願いします。

参考URL : (H29 兵庫県の社会移動の状況を掲示)

Q1 あなたは最近の兵庫県の人口の動向について、以下のことをご存じでしたか。
(それぞれ一つ選択)

- 1 - 1 県の推計人口が550万人を下回った。
知っていた
知らなかった
- 1 - 2 平成29年の県の出生数が過去最低(42,198人)であった。
知っていた
知らなかった
- 1 - 3 平成29年の県の転出超過数が全国ワースト2位(6,657人)であった。
知っていた
知らなかった
- 1 - 4 県の転出超過数のうち、特に20代前半の若者の転出超過が拡大している。
知っていた
知らなかった

Q2 あなたの家族で、過去10年以内に兵庫県から転出された方はおられますか。
おられる場合、それはどのような理由で転出されましたか。次の中からお選びください。(複数選択可)

- 県外への進学(転校を含む)
県外での就職(転職を含む)
県外への転勤
結婚による県外への転出
親等の介護のための県外への転出
県外への移住(住環境や教育環境などその地域に魅力を感じて、自らの意思で他の土地に移り住む場合。)
その他 ~ に該当するものを除く県外への転出
県外に転出したものはいない

Q3 若者が県外へ転出することについてどう思いますか。次の中からお選びください。(1つ選択)

問題はない Q4へお進みください

問題である Q5へお進みください

どちらともいえない Q6へお進みください

Q4 Q3で「問題はない」と答えられた方にお伺いします。それはどのような理由ですか。次の中から最もあてはまるものをお選びください。(1つ選択)

本人の意思や事情が優先されるべきだから

県外へ転出(進学・就職)した方が本人のためになるから

県内・県外にこだわる必要がないから

特にない

その他(下欄にご記入ください)

()

Q5 Q3で「問題である」と答えられた方にお伺いします。それはどのような理由ですか。次の中から最もあてはまるものをお選びください。(1つ選択)

地域の活力(労働力、購買力等)が低下するから

地域の公的サービス(病院、バス、福祉施設等)の維持が困難になるから

自治会など地域コミュニティの担い手が不足するから

将来、管理されない空き家や土地が増えるから

特にない

その他(下欄にご記入ください)

()

Q6 若者が県外へ転出するのはどのような理由からだと思いますか。次の中から最もあてはまるものをお選びください(1つ選択)

県内に魅力的な学校や就職先がない(少ない)から

都会暮らしにあこがれるから

自分を成長させることができるから

新しい土地で新しいことにチャレンジしたいから

わからない

その他(下欄にご記入ください)

()

Q7 若者の兵庫県へのUターン、又は県内定着を促進するために、県としてどういったことに力を入れてほしいと思いますか。次の中からお選びください。(3つまで)

進学や就職・転職等に関する相談体制の充実

県内の進学・就職先(大学・企業等)の情報発信

学生や若者に対するライフプランニング（人生設計）教育の充実
幼少期からのふるさと意識の醸成
住まいの確保に対する支援
子育て環境の整備
特になし
その他（下欄にご記入ください）

（ ）

Q 8 あなたは移住を考えたことがありますか。次の中からお選びください。（1つ選択）

- 考えたことがある
- 考えたことはない

Q 9 県外からの移住者を増やそうとするとき、どのような支援があればよいと思いますか。次の中からお選びください。（3つまで）

- 専門の相談員がいる相談窓口の設置
- ウェブサイトやSNSによる情報提供
- 移住セミナーの開催
- 移住先での住居・就職などの情報提供
- 移住候補地を視察するツアーの開催
- 移住候補地でのお試し居住
- 支援は必要ない（支援するべきではない）
- その他（下欄にご記入ください）

（ ）

Q 10 兵庫県では、兵庫県への移住を促進するため、専門の相談員が移住に関する各種相談に応じる「カムバックひょうごセンター」を神戸と東京に開設しています。あなたは、このことをご存じでしたか。次の中からお選びください。（1つ選択）

- 神戸センター、東京センター両方を知っている
- 神戸センターを知っている
- 東京センターを知っている
- どちらのセンターも知らない

Q 11 兵庫県では、生活・しごと・移住情報などをワンストップで発信するポータルサイト「夢かなうひょうご」を運営しています。あなたはこのポータルサイトを見たことがありますか。次の中からお選びください。（1つ選択）

- 見たことがある
- あることは知っているが、見たことはない
- あることも知らない

Q 1 2 兵庫県の生活・しごと・移住情報などを県外に発信するためには、どのような方法が効果的だと思いますか。次の中からお選びください。(3つまで)

ウェブサイトによる情報発信

SNS(Instagram、フェイスブック等)の活用

マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞等)による広告

移住専門誌への記事掲載

パンフレットの発行

PR動画の作成

PRイベントの開催

兵庫県ゆかりのタレントの起用

その他(下欄にご記入ください)

()

Q 1 3 あなたの家族構成は、次の中のどれに当てはまりますか。次の中からお選びください。(1つ選択)

一人暮らし

夫婦だけ(1世代)

自分(たち)と子ども、または親と自分(たち)(2世代)

親と子と孫(3世代)

その他(下欄にご記入ください)

()

【参考】

ひょうご生活・しごと・カムバックポータルサイト
「夢かなうひょうご」

<https://www.yume-hyogo.com/>